

学校と地域をつなぐ

縁

社会教育主事通信
～えにし～

松江市教育委員会
生涯学習課・学校教育課
2026/9/9(水) 第5号

地域とすすめる取組
「松江てらこや」事業について

放課後や休業日等に公民館等の施設を活用し、地域住民や保護者、学生などの参画を得て、こどもたちに学習等の機会を提供し、学習の習慣づけや学習意欲の喚起を図っている「松江てらこや」について紹介します。この事業は、学力向上や地域社会の中でこどもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として実施されています。

夏休みは多くの「てらこや」が開設され、それぞれ特徴的な取組を通してこどもたちのステキな表情や様子を見ることができました。また、こどもたちの指導や支援に関わる指導員さんたちも、こどもたちの声に耳を傾け寄り添いながら接している様子がたくさん見られ、安心感に満ちていました。


モルックがみんなのブームに！（白潟）


地域の方の特技を生かしたワークショップ（東出雲）


学年に応じた適切な学習環境を工夫（鹿島）


好きな事に熱中できる時間がある（城北）


かき氷の時間が楽しみ！（朝日）


自分たちでぴかぴかにする（八雲）

こどもたちが地域で育つ取組
各地で小学生が大活躍!!







玉湯ジュニアリーダー研修 in玉湯公民館・上久野桃源郷

7月23（木）～24日（金）の一泊二日でかみくの桃源郷で開催された研修に、玉湯学園の5・6年生が参加しました。5年生で経験する宿泊研修とはちがって地域の大人と関りながら自然の中で主体的に活動することを目的に、思いっきり楽しみました。野外炊飯のメニューやキャンプファイヤーのスタンツも自分たちで決めたり自分たちで進めたりして、たくましい姿が見られました。



こどもなつまつりin法吉公民館

8月1日（土）に開催された夏まつりに法吉小・城北小の5・6年生がこども店長として出店しました。こどもたちの「やってみたい！」をカタチにすることを目的に6月から準備を重ね、かき氷・フルーツチョコ・べっこう飴・射的のお店を出せました。地域の大人たちも、こどもたちのステキなアイディアを全力で応援し、当日の法吉公民館は笑顔いっぱいでした。





地域学校協働本部の
特色ある取組紹介

ボランティアのつどい

津田古志原夢きぼう学園では、毎年、学校支援ボランティアと教職員との交流会を行っています。学園全体で行ったり、各校で行ったりと工夫を重ねながら、今回で１２回目を迎えました。お互いの顔や思いを知ることで信頼関係が深まり、日常的なコミュニケーションや連携がよりスムーズになるとともに、こうした学園全体のオープンな姿勢が、地域の理解を深め、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）などの地域連携基盤が強まっています。

８月２４日（月）、津田小学校のつどいでは、普段こどもたちがクラブでどんなことをしているのかを実体験できる体験形式で、ボランティアのクラブ講師（大道芸、昔の遊び、手品等）の方との交流を広げていきました。どの体験ブースもおもしろく、できたときには歓声が上がっていました。終始、温かい雰囲気のなか、楽しい一時を過ごすことができたようでした。なお、四中ではカレー作り、古志原小ではミニコンサートを行っています。





ふるさと教育の
発展的な取組

姉妹都市の児童と交流

姉妹都市提携をする愛知県大口町の小学６年生12名が、このほど松江市を訪れました。同市内の６年生19名と一緒に、国宝松江城や松江歴史館を見学し、交流を深めました。

始めは初対面ということもあり緊張した面持ちの児童たちでしたが、名刺交換をしたり、松江城天守を舞台にしたクイズラリーを３人一組になって楽しんだりするうちに、次第に打ち解けていき、天守最上階に上がったころには、宍道湖や市内の景観を仲良く眺めていました。

松江市は2015年の松江城国宝指定をきっかけに、築城に尽力した堀尾吉晴の出身地である愛知県大口町と姉妹都市提携を結びました。児童同士の交流は歴史的なつながりや互いの地域文化を学ぼうと、夏に松江市、冬に大口町で実施し、今回で５回目となります。






お問い合わせ先
生涯学習課（川神　拓人）
TEL　55-5288
FAX　55-5251
E-mail:s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課
学び推進係（富谷　衡）
TEL　55-5341
FAX　55-5251
E-mail:manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバーは
こちらから